

国土数値情報（土地分類メッシュ）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 23 年 3 月

国土交通省国土計画局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2010 年 3 月	初版
第 1.1 版	2011 年 3 月	旧フォーマット（統一フォーマット）から GML 形式への変換作業に伴い、全体の見直しを実施

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 自然パッケージ.....	5
4.1.3 土地分類メッシュパッケージ.....	6
4.2 空間スキーマプロファイル.....	17
4.3 時間スキーマプロファイル.....	17
5 参照系.....	17
5.1 座標参照系.....	17
5.2 時間参照系.....	17
6 データ品質.....	18
7 データ製品配布.....	20
7.1 配布書式情報.....	20
7.2 配布媒体情報.....	20
8 メタデータ.....	21

付属資料

- 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧
- 2 符号化仕様

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
国土数値情報（土地分類メッシュ）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2011 年 3 月 18 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 参事官室
- 言語：日本語
- 分野：地球科学の情報，土地台帳計画
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は，国土形成計画，国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが，各分野で広く利用されることも想定している。

本データは，国土調査法に基づく土地分類調査結果より，表層地質（岩石区分，かたさ，時代，断層），地形分類（山地，火山地，丘陵地，台地，低地等の主分類，及び，地すべり地形，カルスト地形，埋立地，干拓地等の副分類），土壌（岩石地，黒ボク土壌，赤色土壌等）等を 3 次メッシュ（1km メッシュ）毎に整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
昭和 54 年度

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土計画局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（土地分類メッシュ）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（土地分類メッシュ）データ

■ 日付

2011 年 3 月 18 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 参事官室

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

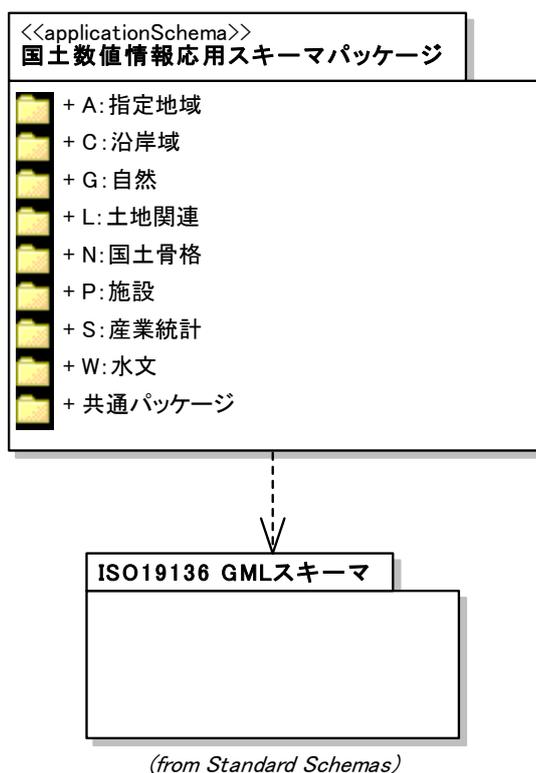
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 自然パッケージ

このパッケージは、自然に関するパッケージをまとめたものである。

<<applicationSchema>> G02: 気候値メッシュ

<<applicationSchema>> G04-a: 標高・傾斜度3次メッシュ

<<applicationSchema>> G04-b: 標高・傾斜度細分メッシュ

<<applicationSchema>> G05: 土地分類メッシュ

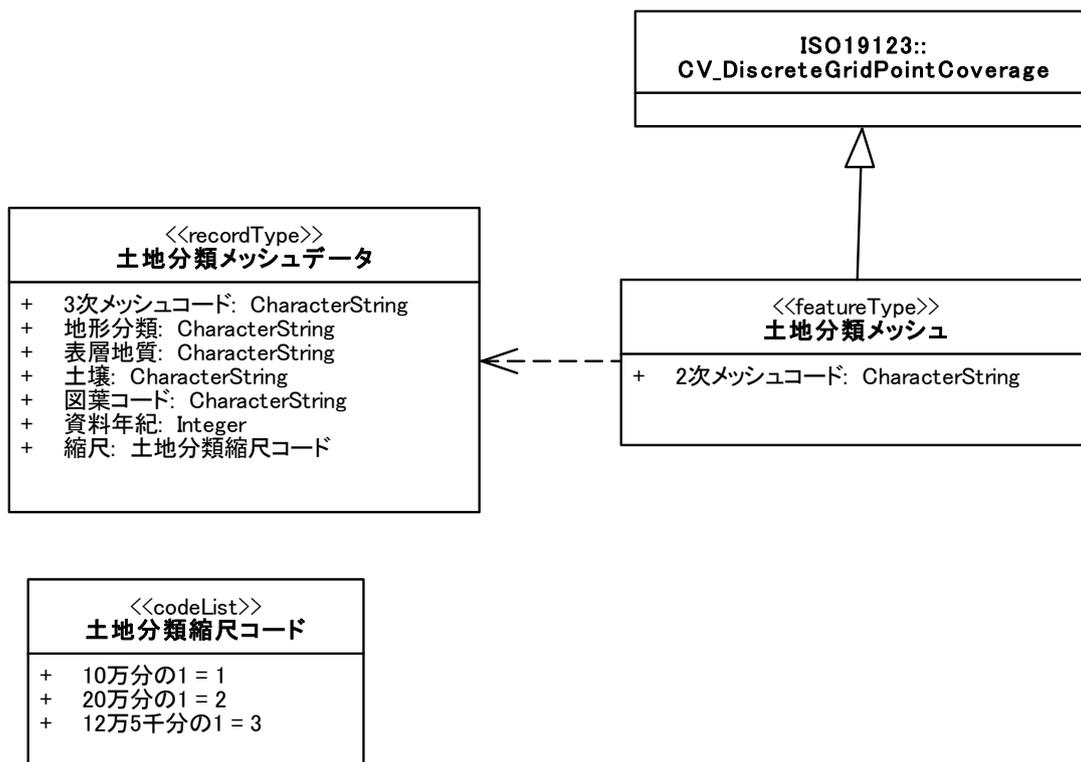
<<applicationSchema>> G06: 山岳メッシュ

<<applicationSchema>> G07: 谷密度メッシュ

4.1.3 土地分類メッシュパッケージ

このパッケージは、土地分類メッシュに関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

土地分類メッシュ

国土調査法に基づく土地分類調査結果より，表層地質（岩石区分，かたさ，時代，断層），地形分類（山地，火山地，丘陵地，台地，低地等の主分類，及び，地すべり地形，カルスト地形，埋立地，干拓地等の副分類），土壌（岩石地，黒ボク土壌，赤色土壌等）等を3次メッシュ（1kmメッシュ）毎に整備したものである。

原典資料を次に示す。

20万分の1土地分類図（国土庁），50万分の1土地分類図（国土庁）

上位クラス：GV_DiscreteGridPointCoverage

抽象/具象区分：具象

属性

2次メッシュコード：CharacterString

土地分類メッシュデータ

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

3次メッシュコード：CharacterString

地形分類：CharacterString

主分類(2桁)+副分類(1桁)で記述する。

分類コードは都道府県ごとに若干異なる。定義域に示すコードは代表的なものとなっている。詳細については，数値地図ユーザズガイドを参照のこと。

■ 定義域

地形分類基準：主分類

主分類	コード
大起伏山地	01

中起伏山地	02
小起伏山地	03
山麓地	04
大起伏火山地	05
中起伏火山地	06
小起伏火山地	07
火山麓地	08
大起伏丘陵地	09
小起伏丘陵地	10
火山性丘陵地	11
火山性扇状地	12
砂礫台地, 段丘	13
ローム台地, 段丘	14
シラス台地	15
砂礫台地	16
岩石台地, 段丘(海岸段丘を含む)	17
熔岩台地, 熔岩流	18
扇状地性低地	19
三角州性低地	20
氾濫原性低地	21
自然堤防, 砂州	22
被覆砂丘 (砂丘Ⅰ・砂丘Ⅱ)	23
湖沼	24
河川	25
旧湖盆地性埋積低地	26
ローム台地 (上位)	31
ローム台地 (中位)	32
ローム台地 (下位)	33
砂礫台地 (上位)	34
砂礫台地 (中位)	35
砂礫台地 (下位)	36
岩石台地 (上位)	37
岩石台地 (中位)	38
岩石台地 (下位)	39
段丘	00

地形分類基準：副分類

副分類	コード
火山灰砂分布／カルスト地形	1
地すべり地形	2
崩かい地形	3
熔岩原	4
氷河地形（カール）／人工改変地	5
埋立地	6
山麓堆積面／干拓地	7
被覆砂丘／埋立地，干拓地	8
干潟	9
項目のないもの(湖沼,河川等含む)	0

表層地質：CharacterString

岩石区分(2桁)+岩石のかたさ(1桁)+時代(1桁)+断層有無(1桁)で記述する。

分類コードは都道府県ごとに若干異なる。定義域に示すコードは代表的なものとなっている。詳細については、数値地図ユーザーズガイドを参照のこと。

■ 定義域

表層地質分類：岩石区分

岩石区分		コード
未固結堆積物	泥，砂，礫各互層	10
	礫	11
	砂	12
	泥	13
	礫，砂	14
	泥，シルト，砂	15
	泥，砂，礫	16
	砂，礫，粘土	17
	碎屑物	21
	崖錐堆積物	22
	礫，砂，粘土	23
	粘土	24

	泥炭	25
半固結－固結堆積物	砂岩，泥岩互層	29
	砂岩，礫岩	30
	礫岩	31
	砂岩	32
	泥岩	33
	礫岩，砂岩，泥岩	34
	珪岩質岩石	35
	各岩石の互層	36
	輝緑凝灰岩	37
	石灰岩	38
	スコリア	39
	粘板岩	40
火山性岩石	火山灰	41
	火山砕屑物	42
	軽石（浮石流堆積物）	43
	シラス	44
	ローム	45
	火山角礫岩，凝灰角礫岩	48
	レイ岩	49
	緑色岩類	50
	集塊岩及び凝灰角礫岩	51
	凝灰岩質岩石	52
	流紋岩質岩石	53
	安山岩質岩石	54
	玄武岩質岩石	55
深成岩類	斑岩	61
	花崗岩質岩石	62
	ハンレイ岩質岩石	63
	蛇紋岩質岩石	64

	角閃岩類	65
	輝緑岩質岩石	66
	結晶質石灰岩	67
変成岩類	ホルンフェルス	71
	緑色片岩	72
	黒色片岩	73
	片麻岩	74
	結晶片岩	75
圧砕岩類	圧砕岩	81
表示のないもの		00

表層地質分類：岩石のかたさ

岩石のかたさ	コード
岩体軟－岩片軟 (1-a)	1
岩体軟－岩片中 (1-b)	2
岩体軟－岩片硬 (1-c)	3
岩体中－岩片軟 (2-a)	4
岩体中－岩片中 (2-b)	5
岩体中－岩片硬 (2-c)	6
岩体硬－岩片軟 (3-a)	7
岩体硬－岩片中 (3-b)	8
岩体硬－岩片硬 (3-c)	9
表示のないもの	0

表層地質分類：時代

時代	コード
古生代 P	1
中生代 M	2
古第三紀 Tr	3

新第三紀 Tn	4
洪積世 D	5
沖積世 A	6
ジュラ紀 J	7
白亜紀 C	8
第三紀 T	9
表示のないもの	0

表層地質分類：断層有無

断層有無	コード
断層無・背斜	1
断層無・向斜	2
断層有・背斜	3
断層有・向斜	4
断層有・背斜／向斜無	5
断層無・背斜／向斜有	6
断層有・背斜／向斜有	7
表示のないもの	0

土壌：CharacterString

土壌統計群(2桁)+付加記号項目(1桁)で記述する。

分類コードは都道府県ごとに若干異なる。定義域に示すコードは代表的なものとなっている。詳細については、数値地図ユーザズガイドを参照のこと。

■ 定義域

土壌分類基準：土壌統計群

土壌統計群	コード
岩石地	1
高山岩屑性土壌	2
岩屑性土壌	3
崩積性未熟土壌	4

残積性未熟土壌	5
粗粒残積性未熟土壌	6
砂丘未熟土壌	7
火山抛出物未熟土壌	8
粗粒火山抛出物未熟土壌	9
風化火山抛出物未熟土壌	10
粗粒風化火山抛出物未熟土壌	11
厚層黒ボク土壌	12
黒ボク土壌	13
厚層黒ボク土壌, 黒ボク土壌複合相	14
粗粒黒ボク土壌	15
多湿黒ボク土壌	16
粗粒多湿黒ボク土壌	17
黒ボクグライ土壌	18
淡色黒ボク土壌	19
粗粒淡色黒ボク土壌	20
乾性褐色森林土壌	21
乾性褐色森林土壌 (黄褐色系)	22
乾性褐色森林土壌 (赤褐色系)	23
乾性褐色森林土壌 (赤黄褐色系)	24
褐色森林土壌	25
褐色森林土壌 (黄褐色系)	26
褐色森林土壌 (赤褐色系)	27
褐色森林土壌 (暗色系)	28
褐色森林土壌 (表層グライ系)	29
湿性褐色森林土壌	30
湿性褐色森林土壌 (黄褐色系)	31
乾性ポドゾル化土壌	32
湿性ポドゾル化土壌	33
赤色土壌	34

赤，黄色土壤	35
黄色土壤	36
暗赤色土壤	37
褐色低地土壤	38
粗粒褐色低地土壤	39
細粒灰色低地土壤	40
灰色低地土壤	41
粗粒灰色低地土壤	42
細粒グライ土壤	43
グライ土壤	44
粗粒グライ土壤	45
高位泥炭土壤	46
低位泥炭土壤	47
黒泥土壤	48
鉍害復旧田	49
高山性岩屑土壤－岩石地	50
岩屑土壤－岩石地	51
湿性砂丘未熟土壤	52
湿性粗粒火山抛出物未熟土壤	53
累層黒ボク土壤	54
湿性累層黒ボク土壤	55
黒ボク土壤 a	56
黒ボク土壤 b	57
湿性黒ボク土壤 a	58
湿性黒ボク土壤 b	59
未熟黒ボク土壤	60
湿性未熟黒ボク土壤	61
淡色黒ボク土壤 a	62
淡色黒ボク土壤 b	63
褐色森林土壤 I	64

褐色森林土壌 II	65
褐色森林土壌 III	66
褐色森林土壌 IV	67
褐色森林土壌－粗粒火山拋出物未熟土壌	68
褐色森林土壌－黒ボク土	69
褐色森林土壌－乾性ポドゾル化土壌	70
暗色系褐色森林土壌－ポドゾル化土壌	71
ポドゾル化土壌 I	72
ポドゾル化土壌 II	73
ポドゾル化土壌－高山性岩屑土壌	74
灰色台地土壌	75
グライ台地土壌	76
中間泥炭土壌	77
その他（砂礫地，市街地等）	99
ないもの（湖沼，河川等）	00

土壌分類基準：付加記号項目

付加記号項目	コード
老朽化水田	1
過乾地帯	2
過湿地帯	3
腐植土および軽しょう土	4
重粘土	5
礫土	6
1 m以内の礫層，砂層および砂礫層	7
1 m以内の盤層	8
1 m以内の泥炭および黒泥層	9
データのないもの	0

図葉コード：CharacterString

都道府県コード(2桁)＋年紀区分(1桁)で記述する。

年紀区分は，北海道 1 から 8，北海道以外はブランクとする。

■ 定義域

北海道年記区分

北海道の年記区分	コード
調査実施年度 1972 年～1973 年	1
調査実施年度 1973 年～1974 年	2
調査実施年度 1974 年～1975 年	3
調査実施年度 1974 年～1975 年	4
調査実施年度 1975 年～1976 年	5
調査実施年度 1975 年～1976 年	6
調査実施年度 1976 年～1977 年	7
調査実施年度 1976 年～1977 年	8

資料年記 : Integer

西暦で記述する。

縮尺 : 土地分類縮尺コード

■ 定義域

コード	対応する内容
1	10 万分の 1
2	20 万分の 1
3	12 万 5 千分の 1

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

この品質要求は、国土数値情報の旧フォーマット（統一フォーマット）のデータから変換する JPGIS 第 2.1 版 附属書 12（規定）地理マーク付け言語（GML）に準拠するデータに適用するものである。

ここでは、旧フォーマットのデータと GML 準拠のデータとの差異（完全性）及び応用スキーマに対する適合性（論理一貫性）について品質を要求する。

なお、今後このデータを新たに作成又は更新する際には、完全性及び論理一貫性の品質要求に加え、位置正確度、時間正確度及び主題正確度に関する品質要求を必要に応じ追加する。

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについて比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。 誤率（％）＝（過剰なデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象インスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準とを比較し、次の式に基づき合否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについては比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・旧フォーマットのデータと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 誤率（％）＝（漏れのデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準を比較し、次の式に基づき合否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくないエラー箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。 誤率（%）=（XML 文書の構文エラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサー）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	GML 標準スキーマ（XMLSchema）及び GML 応用スキーマ（XMLSchema）に対する、データ集合に存在する矛盾（エラー）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XMLSchema に対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンス、地物属性及び地物関連の型が、応用スキーマが規定する地物型と一致しない場合、エラーとする。 ■幾何要素（空間オブジェクト）に関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。 誤率（%）=（XMLSchema に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XMLSchema と矛盾しないか、検査プログラム（バリデータ）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	応用スキーマが規定する定義域に対する、データ集合に存在する定義域外の値をもつ地物属性インスタンスの割合（誤率）を計算する。 誤率（%）=（地物属性の定義域に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	検査プログラムによって全数検査を実施する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (土地分類メッシュ) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

1 次メッシュ

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数値情報（土地分類メッシュ）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
自然					
	G05 土地分類メッシュ				
	土地分類メッシュ			LandClassificationMesh	land classification mesh
		2次メッシュコード	CharacterString	secondaryMeshCode	secondary mesh code

2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.1">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="LandClassificationMesh" type="ksj:LandClassificationMeshType"
substitutionGroup="gml:GridCoverage"/>
  <xsd:complexType name="LandClassificationMeshType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>土地分類メッシュ</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:DiscreteCoverageType">
        <xsd:sequence>
```

```

    <xsd:element name="secondaryMeshCode" type="xsd:string">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>2次メッシュコード</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
  </xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="LandClassificationMeshPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:LandClassificationMesh" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="LandClassificationMeshMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:LandClassificationMesh" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="DiminishingScaleCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>土地分類縮尺コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:DiminishingScaleCodeEnumType
ksj:DiminishingScaleCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DiminishingScaleCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">

```

```

<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>10万分の1</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="2">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>20万分の1</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>12万5千分の1</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DiminishingScaleCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```